

出身中学校長 様

熊本県立湧心館高等学校長

調査書の記入にあたっては、以下の「調査書記入上の注意」に従って作成してください。

調 査 書 記 入 上 の 注 意

- 1 「卒業・卒業見込み 年月日」の欄
「卒業・卒業見込み」の該当する方を選択すること。
- 2 「編入学、転入学、転学・退学等の記録」の欄
該当するものがない場合は、斜線を引くこと。
- 3 「観点別学習状況」の欄
 - (1) 観点ごとに、評価が「A」の場合のみ○印を記入し、それ以外は空欄とすること。
 - (2) 第3学年在校生については令和7年（2025年）12月31日までの評価を記入すること。
- 4 「各教科の学習の記録」の欄
 - (1) 各学年の欄には、生徒指導要録に基づいた評定（第3学年在校生は令和7年（2025年）12月31日までの評定）を記入すること。
 - (2) 「選択教科」で、年間の中で前期、後期で異なる教科（コースを含む。）を履修した場合は、それぞれ記入すること。その際、前期、後期の区別を付ける必要はない。なお、履修しなかった教科は、空欄とすること。
 - (3) 何らかの事情で、評定を出すことができない場合は、その評定の部分を空欄とし、その旨を総合所見及び指導上参考となる諸事項欄に記述すること。
- 5 「特別活動の記録」の欄
記載事項が特にない場合は、「特記事項なし」と記入すること。
- 6 「出欠の記録」の欄
 - (1) 第3学年在校生については、令和7年（2025年）12月31日現在で記入すること。
 - (2) 欠席が0の場合は、「備考（欠席の理由等）」の欄は斜線を引くこと。
- 7 「健康の記録」の欄
中学校で指導上特に配慮した事項、受検上配慮すべき事項など、特記事項があれば記入すること。特記事項がない場合は、「特記事項なし」と記入すること。
- 8 その他
 - (1) 様式は一切変更しないこと。
 - (2) 氏名は、生徒指導要録の記載と同一であれば、ゴム印でも認める。
 - (3) 誤記を訂正する場合は、二本線で消し、その上から記載者の訂正印を押して、正しく書き直すこと。

裏面に続く

- (4) 複写したものに校長の職印及び記載者の印を押印することで、調査書とすることができる。
- (5) 「※ 入学願の受付番号」の欄には、記入しないこと。
- (6) 「成績一覧表番号」の欄は斜線を引くこと。「成績一覧表」は、提出する必要はない。

9 過年度卒業生の場合

- (1) 令和7年（2025年）3月以前に中学校を卒業した者については、当該年度における熊本県立高等学校入学者選抜要項による調査書の様式に従って作成すること。記入にあたっては、上記の「調査書記入上の注意」に準じて作成すること。
- (2) 「健康の記録」の欄は、記入する必要はない。
- (3) 令和2年（2020年）3月以前に中学校を卒業した者については、調査書に代えて卒業証明書を提出すること。

※ 卒業後に改姓した場合は、調査書（卒業証明書）は指導要録の記述に従って記載し、新姓を（ ）書きで入れてください。また出願の際に、出身中学校長から本校校長へ事情を説明する文書（様式は任意）を添えてください。